2013 年 12 月 16 日

各　　位

東京都東京都港区虎ノ門 4－1－28
日本通信株式会社
代表取締役社長　三田　聖二
（コード番号：9424）
問合せ先　代表取締役副社長　福田　尚久
電話 03-5776-1700

日本通信、“デバイス別サービス SIM”プラットフォームを投入

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、MVNO の真の競争を示すため、新たな競争軸“デバイス別サービス SIM”プラットフォームの開発が完了したので、近日中に投入いたします。単なる価格競争に終止符を打たせ、パフォーマンスを強化して、値段を下げられる新たなプラットフォームを紹介します。

当社は、2013 年 11 月 13 日、「MVNO の価格競争に終止符を打つ、フリーData　−MVNO としての真骨頂にむけて−」と題した報道発表において、当社に追随したサービスの価格競争に終始する今日の MVNO 市場は、本来の MVNO の姿、すなわち、キャリアがやっていない、又はやりたくないサービスを提供する MVNO の姿ではないこと、SIM だけを見ても１０倍の未開拓市場があり、ここに対し、MVNO 各社がクリエイティブにサービスを企画し提供することこそが MVNO の真骨頂だ、ということを述べさせていただきました。

本日発表のデバイス別サービス SIM は、MVNO が新しい市場をきり拓くことができる、新しいプラットフォームです。デバイスを自動判別し、そのデバイス専用の通信を提供することで、パフォーマンスを強化しながらも値段を下げることができるもので、M2M の世界では、Machine（マシーン）が、アプリケーション（用途）に応じて専用機化されているように、通信も専用化されていかなければなりません。Machine（マシーン）の種類だけ専用通信があり、見合った通信を設定し提供できる、それがデバイス別サービス SIM プラットフォームです。

当社は今後、MVNO の先駆者として、メーカーの希望を叶え、デバイスを最大限いかし、最適なサービス内容として、最適なコストパフォーマンスをお客さまに提供することができる、デバイスにあわせた専用通信を提供させていただきます。

当社はパフォーマンスを強化して、コストを下げる方法として、2010 年は通信速度別サービス SIM、2011 年はデータ量別サービス SIM、2012 年は接続時間別サービス SIM を打ち出し、2013 年、いよいよデバイス別サービス SIM プラットフォームの提供開始です。MVNO が席巻するクリエイティブな競争にご期待ください。

なお、当社では近日中に、デバイス別サービス SIM プラットフォームの活用事例第一弾となる、データ通信 SIM として最高のコストパフォーマンスを提供する商品・サービスを発表いたします。

本件に関するメーカーからの問合せ先
ビジネス・デベロップメント　執行役員　沢　昭彦
直通電話　03-5776-1760
E-mail:　asawa@j-com.co.jp

■日本通信について

1996 年 5 月 24 日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから 13 年の歳月を経て、2009 年 3 月、NTT ドコモとの相互接続により「MSO 事業モデル」を完成させました。総務省の携帯市場のオープン政策のもと、メーカー、流通、ソフトウェア・デベロッパーの皆さまがキャリアに依存することなくビジネス展開ができるよう、パートナー企業の皆さまのビジネス形態に合わせて携帯通信を最適化しご提供しています。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだしております。自社 b-mobile ブランド製品をお客さまに提供する MVNO 事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供する MVNE 事業を展開しています。
MSO=Mobile Service Operator

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載されている内容は、発表日時点の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。